



社会貢献活動

CSR

「社会への貢献」経営の基本方針の中にこの一項目がございます。

この基本方針は「正業による事業活動で利益を上げ、社員と社会へ還元する」
「どんな形でもいい、企業はその力の範囲で、弱い立場にある人や社会を救済する努力を続けるべきであり、自分達だけ良ければいい、という考えでは企業は成り立たない。土があって木が生えるがごとく、人と社会があって企業は成り立っている」

今後もこの基本方針の基、活動してまいります。

環境保全活動

Environmental conservation activities

【環境方針】

- 1.事業活動が環境に与える影響を適切に評価し、重点課題の改善により環境負荷軽減に努めます。
- 2.環境側面に関して法規制を遵守し、環境保全に努めます。
- 3.全従業員の環境保全への理解と意識の共有化を図ります。
- 4.廃棄物の適正処理、リサイクルを推進します。
- 5.本方針及び具体的活動については、情報媒体を利用し広く公表します。



安全、衛生的な職場で高品質の製品づくりと地球に優しい環境活動をモットーに従業員にとってより働き易く且つ安全な職場づくりを行う事で、お客様に満足して頂ける製品をご提供する為の安全衛生環境活動を行ってまいります。
また、地球にやさしい環境づくりの為の太陽光発電装置を備えたエネルギー節減も行っております。

情報セキュリティ基本方針

Information security policy

株式会社中村製作所（以下、当社）は、品質への理念と決意の元、「家族の為、国々の為、人類の為に、」を経営理念に、加工と接合を組み合わせた高機能部品の製造を行っています。このような中、社会環境はIT/IoTをベースとしたデジタル化社会に大きく舵を取りつつあります。この大きな社会変化の中で、当社は、お客様からお預かりした情報、及び当社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき会社で情報セキュリティに取り組みます。

- 〈1.経営者の責任〉当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。
- 〈2.社内体制の整備〉当社は、情報セキュリティの維持及び改善の為、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。
- 〈3.従業員の取組み〉当社は、役員・社員（協力会社社員も含む）に対して情報セキュリティに関する教育、啓蒙活動を継続的に実施し、情報セキュリティポリシーの周知徹底に努めます。
- 〈4.法令及び契約上の要求事項の遵守〉当社は、情報セキュリティに関する法令、規制、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。
- 〈5.違反及び事故への対応〉当社は、情報セキュリティに関する法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。
- 〈6.情報セキュリティ管理のレビュー〉当社は、情報セキュリティの管理が適切に実施されているか定期的に検証し、継続的改善に努めます。

反社会的勢力に対する宣言

私ども中村製作所は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため、以下のとおり「反社会的勢力に対する宣言」を行い、これを遵守します。

- 1.当社は、反社会的勢力との取引を含めた関係を遮断し、不当要求に対しては断固として拒絶します。
- 2.当社は、反社会的勢力による不当要求に対し、社員の安全を確保しつつ組織として対応し、迅速な問題解決に努めます。
- 3.当社は、反社会的勢力に対して資金提供、不適切・異例な取引および便宜供与は行いません。
- 4.当社は、反社会的勢力による不当要求に備えて、平素から警察、暴力追放運動推進センター、弁護士などの外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。
- 5.当社は、反社会的勢力による不当要求に対しては、民事と刑事の両面から法的対抗措置を講じる等、断固たる態度で対応します。



中村製作所は

「削る」「くっつける」「表面を整える」プロ集団です。



切削加工と溶接技術を複合的に組み合わせ、
高精度・高品質の製品をご提供致します。

熱処理、溶接、表面処理まで一貫して
おまかせください。

沿革

History

1945(昭和20)年 8月	山梨県南巨摩郡中富町に於いて工員2名と共に発足
1963(昭和38)年 6月	甲府市下飯田に新工場を建設、精密加工度向上を計る
1964(昭和39)年 5月	津上 T7,2M 等高精度設備導入し、精密加工工場として本格出発する
1968(昭和43)年 11月	甲府市より企業合理化モデル工場の指定を受ける(以降14期連続)
1972(昭和47)年 4月	中小企業庁より企業合理化モデル工場の指定を受ける(以降12期連続)
1972(昭和47)年 9月	資本金1,000万円を以て株式会社に改組する
1980(昭和55)年 9月	資本金を2,000万円に増資
1985(昭和60)年 6月	甲府税務署より優良法人の指定を受ける
1994(平成6)年 11月	創業者中村芳文会長就任・中村和夫社長就任
1997(平成9)年 6月	EBW(電子ビーム溶接機)の本格稼動開始
1998(平成10)年 7月	真空ろう付け機設置
2000(平成12)年 6月	大型部品対応の為の新棟factory2完成
2001(平成13)年 8月	EBW(電子ビーム溶接機)2号機設置、大型部品にも対応
2007(平成19)年 2月	山梨県より経営革新計画事業所の認定を受ける
2007(平成19)年 11月	厚生棟「Hall of Noah」factory4・5完成
2008(平成20)年 2月	「Hall of Noah」へ太陽光発電システム設置
2009(平成21)年 2月	主工場factory3完成
2011(平成23)年 8月	本棟office1およびfactory1改装完了
2012(平成24)年 5月	管理棟office2完成
2013(平成25)年 6月	南エリア、中央エリア完成
2020(令和2)年 11月	大型倉庫完成
2022(令和4)年 11月	企画・計画から4年10ヶ月をかけ本社棟完成
2023(令和5)年 3月	中村和夫会長就任・中村健太社長就任・中村成美副社長就任



代表挨拶

Greeting



代表取締役社長

中村 健太

『ものづくり』を追求する企業として祖父・父から受け継いだ中村製作所は、これからも日本が擁する製造技術の躍進と発展の為に成長し続けてゆくことを宣言します。

産業の育成と経済の伸張は、国家にとり国民にとり存在意義の根幹かつ要であるとの信念のもと、多様な困難と苦難を乗り越えながら人も会社も変化と革新を恐れず、厭わず、未来への希望を携えて力を尽くして参ります。

経営理念

Management philosophy

品質への理念と決意
家族の為、国のために、人類のために、
＜品質ってこんなに大切、こんなに素晴らしい！＞

会社概要

Company overview

事業者名	株式会社 中村製作所
創業	1945(昭和20)年8月15日
資本額	資本金2,000万円
代表者	代表取締役社長 中村 健太
所在地	〒400-0064 山梨県甲府市下飯田一丁目6番2号
社員数	総数80名
取引銀行	みずほ銀行(甲府支店)・山梨中央銀行(下飯田支店)・日本政策金融公庫(甲府支店)・商工中金(甲府支店)

事業内容	半導体製造装置部品・液晶製造装置部品・医療機器製造装置部品・各種製造装置部品・高真空機器部品等の精密部品製造
教育訓練	品質委員会、夏季研修会、各種講習会派遣、技術習得派遣、その他勉強会(講師招へい)
福利厚生	全館冷暖房完備、親和クラブ(スポーツ、教養、レクリエーション等の社内親睦組織)、社員旅行、退職金制度、各種保険制度、癒しの館 Noah(ノア)

主要納入先

Client company

東京エレクトロングループ(東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)・東京エレクトロン宮城(株)・東京エレクトロン九州(株))・キヤノングループ(キヤノンセミコンダクターエクイップメント(株)・長浜キヤノン(株)・キヤノンマシナリー(株))・TDK(株)・住友重機械イオンテクノロジー(株)・内外テック(株)・(株)KELK・アルパックファイ(株)・テルモ(株)他

有資格者

Skill & License

機械加工職種マシニングセンタ作業(1級機械加工技能士)10名・機械加工職種マシニングセンタ作業(2級機械加工技能士)10名・機械加工職種数値制御旋盤作業(2級機械加工技能士)2名・機械加工職種普通旋盤作業(1級機械加工技能士)2名・機械加工職種普通旋盤作業(2級機械加工技能士)1名・機械検査職種機械検査作業(1級機械検査技能士)1名・機械検査職種機械検査作業(2級機械検査技能士)1名・機械科職業訓練指導員免許1名・水質関係第2種公害防止管理者2名・第一種衛生管理者1名・有機溶剤作業主任者3名・危険物取扱者乙4種3名・危険物取扱者乙6種1名

加工技術

Processing technology

「品質は全て優先する」をスローガンに創業当時から受け継ぎ、磨いてきた技術に誇りをもちお客様のご要望に全力でお答えできるものづくりを目指しています。



中村製作所の強み

Our strengths

精密機械加工と電子ビーム溶接を主軸に、高品質な製品製造に係わるほぼ全てをワンストップで対応できる工場・サプライチェーンを保有しています。

半導体や医療といった高品質な製品の製造に必要な、トレーサビリティ・品質マネージメントにも対応し、高い次元でのものづくりを追及しています。



機械加工

マシニングセンター／NC旋盤
汎用旋盤／汎用フライス盤／
ワイヤー放電



溶接技術

電子ビーム溶接／真空ろう付け／
TIG溶接／レーザー溶接



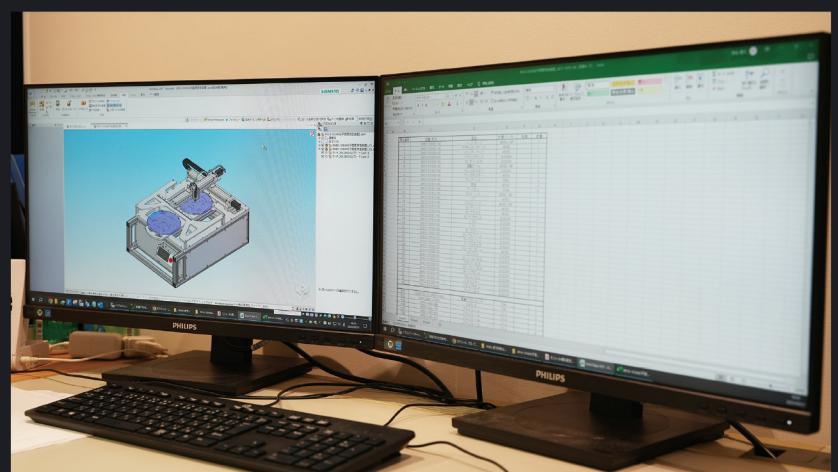
各種処理施工

熱処理／表面処理
(アルマイド・各種メッキ処理)

ご相談から受注・納品までの流れ

Work flow

お客様のお困りごとに真摯に向き合い、弊社保有技術を結集してご要望にお応えいたします。
材質・形状に係わらず、まずはお気軽にお問合せ下さい。
高品質な製品はもとより、納期・価格・その他ご要望にお応えできるよう全力で対応させていただきます。



工程改善のための装置開発

Our Products

常に改善を意識したものづくり。
その実現のために様々な装置の自社開発を行っています。

技術の紹介

Technical Expertise

弊社の保有する様々な技術をご紹介いたします。



機械加工

1mを超える大型製品の加工から、手のひらサイズの製品までをフレキシブルに対応できる加工機を保有しています。

全ての領域において最善の加工が行えるよう、最先端の加工技術を搭載した加工機を導入し、技術力の向上を目指した設備投資を行っています。

併せて技術の伝承にも情熱を注ぎ、単なる機械加工集団ではなく、最先端技術を操る職人集団を目指します。



溶接技術

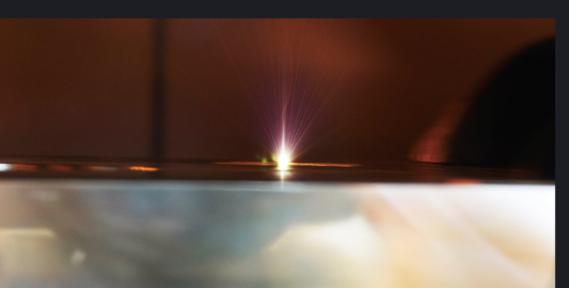
電子ビーム溶接

電子ビーム溶接は製品を真空状態に置き高いエネルギーで溶接することで通常の溶接では再現することのできない正確で再現性の高い溶接を行うことができる技術です。

また、狭い範囲を局的に溶接したり、ステンレスと銅などの異材の溶接が可能なことも特色です。



機械加工と電子ビーム溶接を一度に対応できる会社は珍しく、その強みを生かしたご提案ができるのも中村製作所の強みです。



その他の溶接技術

TIG溶接やレーザー溶接など様々な溶接を素材・製品・形状によって使い分けることで他社では再現の難しい形状でも弊社の技術により対応が可能です。

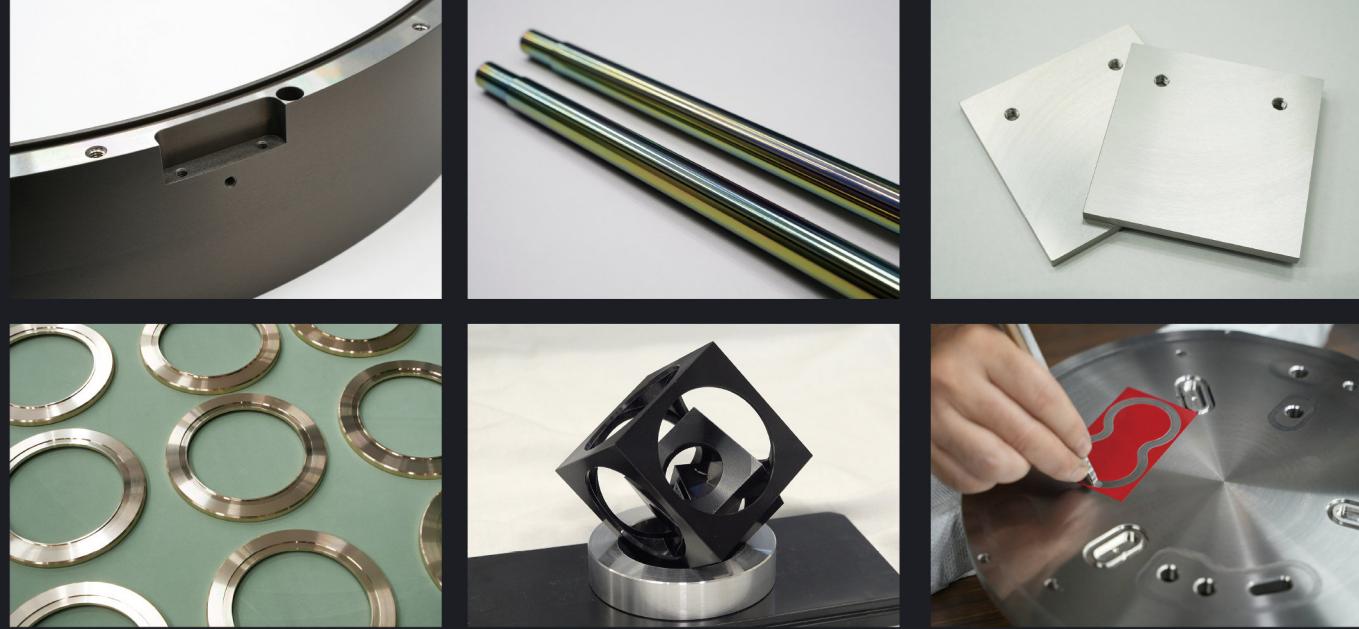
技術の紹介

Technical Expertise

各種処理施工

部品製造に必要な様々な処理の施工が可能です。

アルミ製品へのアルマイト処理はもちろん各種メッキ処理・空化や焼き入れなどの熱処理にも柔軟に対応します。



設計／開発

工程改善のための様々な機器を自社で開発することにより
お客様のご要望に全力でお答えします。

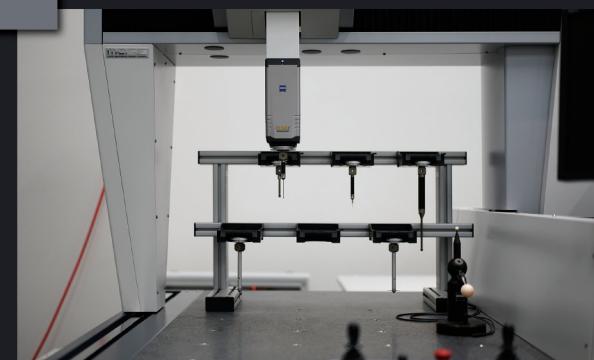


品質管理

顧客満足、品質第一を掲げる弊社の経営理念を実践する重要な位置づけにあり、品質保証活動を積極的に行ってています。

品質保証活動の重要なポイントは以下のとおりです。

- 1.顧客要求事項を理解し要求どおりの製品を出荷する。
- 2.要求を満たさない製品は、確実にプロックすると同時に、そのデータの蓄積・分析により関係部署、関係者にフィードバックをかけ予防処置をとる。
- 3.コスト意識を常に高くもち業務、作業改善を行う。



保有設備／作業環境等

Equipment／Work environment

バリエーション豊かな加工設備

Equipment

加工設備	台数
横型NC旋盤	7
縦型NC旋盤	5
5軸複合旋盤	4
縦型MC	5
横型MC	6
小型MC	7
自動盤	2
汎用・卓上旋盤	5
汎用フライス	3
平面研削盤	2
工具研磨機	2
電子ビーム溶接機	4
TIG溶接設備	1
ワイヤー放電加工機	2



検査設備一覧

Inspection equipment

高品質なものづくりを支える、数多くの検査設備を保有しています。

検査設備	台数
三次元測定機	4
表面粗さ形状測定機	1
表面粗さ測定機	1
工具顕微鏡	1
ヘリウムリークディテクター	1
画像寸法測定器	1
その他ゲージ類	多数

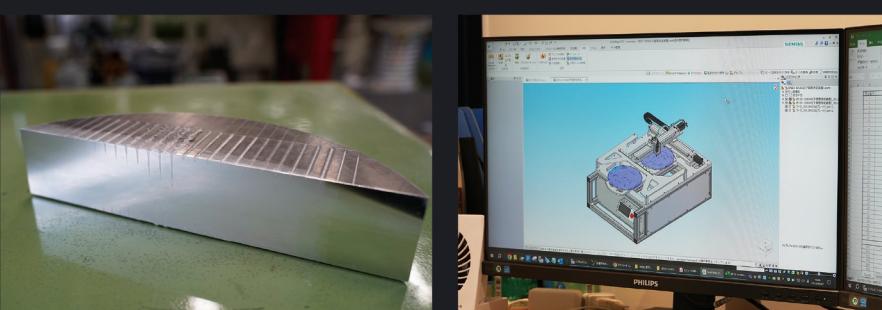


その他設備

Other equipment

3D・CADをはじめ、複数の方式のCAD、その他生産支援設備を保有しています。

その他の設備	台数
3D CAD/CAM	4式
樹脂用3Dプリンター	1
搬送用ロボット	1
熱処理炉	1
真空梱包機	1



弊社の保有する様々な設備や環境を
ご紹介いたします。

設備一覧の詳細はこちらよりご覧いただけます。

